

2024 年 12 月 10 日

公益財団法人みちのく未来基金
代表理事および業務執行理事業務報告
(報告対象期間:2023 年 10 月～2024 年 9 月)

【奨学金給付事業関連】

1. 奨学金の給付状況

第 8 期生から第 13 期生までの奨学生に対し、奨学金の給付を実施いたしました。

① 給付人数

第13期給付対象人数および第14期生の給付申請状況は以下の通りです。

◆第 13 期給付対象者数 (単位:人)

【学校種別内訳】

	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	207	64	110	13	20
国公立大学	23	11	8	1	3
私立大学	142	44	78	8	12
大学院	9	2	4	0	3
短大・専門学校	31	6	20	4	1
海外・その他	2	1	0	0	1

【期生別内訳】

	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	207	64	110	13	20
8期生	6	2	3	0	1
9期生	8	2	4	0	2
10期生	46	14	29	1	2
11期生	47	19	18	4	6
12期生	54	14	29	6	5
13期生	46	13	27	2	4

※2024 年 9 月末現在

2024 年 9 月末現在、第 8 期生から第 13 期生まで、奨学金給付を行っている人数は上表の通りで、合計 207 名です。なお、2023 年 10 月から 2024 年 9 月末までに、自主退学等の理由により、8 名について給付を停止しました。

基金発足時から 2024 年 9 月末までで第 1 期生から第 13 期生までの延べ給付人数は 1,145 名です。

	合計	岩手県	宮城県	福島県	3 県以外
合計	1,145	378	622	71	74
1 期生	96	36	53	6	1
2 期生	126	37	79	6	4
3 期生	111	46	50	10	5
4 期生	104	31	63	2	8
5 期生	93	37	43	8	5
6 期生	108	40	51	6	11
7 期生	89	24	55	7	3
8 期生	85	28	43	6	8
9 期生	89	26	48	5	10
10 期生	73	21	47	3	2
11 期生	70	25	33	4	8
12 期生	55	14	30	6	5
13 期生	46	13	27	2	4

[第 14 期給付者数見込み]

第 14 期については 2025 年 3 月に 63 名が卒業予定で、第 14 期生としての進学希望者が 50 名いるため、第 14 期の給付者数は最大で 193 名となる見込みです。

② 給付予定金額

第 9 期生への年間給付予定金額	7,910 千円
第 10 期生への年間給付予定金額	9,040 千円
第 11 期生への年間給付予定金額	51,980 千円
第 12 期生への年間給付予定金額	48,590 千円
第 13 期生への年間給付予定金額	51,980 千円
第 14 期生への年間給付予定金額	68,000 千円
給付予定金額総計	237,500 千円

第 14 期の給付予定金額は 237,500 千円になる見込みです。この約 2.4 億円の試算をベースに年間の資金繰りを行ってまいります。

2. 第 14 期生の募集状況

2024 年 4 月より、第 14 期生の募集を開始いたしました。

◆第 14 期奨学金給付希望者数（単位：人）

	2025年高校卒業予定者				既卒者	14期生 合計
	遺児・ 孤児数	給付希望 (人)	辞退者 (人)	給付 希望率 (%)		
岩手県	13	10	3	76.9%	1	11
宮城県	36	33	3	91.7%	1	34
福島県	4	3	1	75.0%	0	3
上記3県以外	2	2	0	100.0%	0	2
合計	55	48	7	87.3%	2	50

※上記の表は 9 月末時点での奨学金給付希望者で、合格後に奨学金の給付が開始されます。

基金の調査では、2025 年春高校卒業予定の震災遺児は 55 名で、そのうち進学希望者は 48 名です。2024 年春以前に高校を卒業して現在浪人中の進学希望者が 2 名いるため、第 14 期生としての奨学金給付希望者数は合計 50 名となります。

3. 第 15 期生以降の対象者の把握

厚生労働省が 2015 年 9 月時点の震災遺児の居住地状況を把握したデータから、全国の震災遺児の総数は 1,782 名（うち岩手・宮城・福島の被災 3 県以外は 171 名）となっており、基金で独自に被災 3 県をはじめ、全国の該当する行政窓口、教育委員会等、様々な機関へのアプローチを実施した結果、第 15 期生から第 20 期生まで合計 198 名について、支援予定者として把握いたしました。

4. 選考委員会の開催

「第 14 期生選考委員会」

内閣府の公益法人（助成型）の認可要件として、奨学生の認定について公平性・公正性の担保という観点から選考委員会の設置が求められており、これに基づき次の通り開催いたしました。

2024 年 8 月 23 日（金）11:30-13:00（於：ホテルメトロポリタン仙台 桃李）

・選考委員

横田 昭彦 元岩手県立高田高等学校長

庄司 恒一 元宮城県高等学校長協会長 ・ 元宮城県仙台第二高等学校長

杉 昭重 元福島県教育委員会教育長 ・ 元福島県立安積黎明高等学校長

・事務局

藤田晋太郎、齋藤雅子、今吉成和

第 14 期奨学金給付対象者（2025 年 4 月からの奨学金給付開始予定者）について、東日本大震災の遺児であることの確認、および進学先についての承認を諮り、了承いただきました。

5. 年次面談の実施

2023 年 9 月から 11 月にかけて、東京・仙台・盛岡の 3 会場において、奨学生全員との面談を実施いたしました。この面談は、基金スタッフが全ての奨学生の話聴ける年に一度の機会であり、学生生活の様子や困りごとなどを聴き、奨学生の心のケアにつなげることを目的に、基金のもっとも重要な活動となっています。新型コロナウイルスが第 5 類に変更されたことに伴い、原則として全員と対面面談

を実施する方式に戻しました。

6. 「第 12 期生の集い」

2024 年 3 月 26 日(土)に仙台国際センターにて「第 13 期生の集い」を開催しました。

4 月に進学する新入生 23 名と、3 月で卒業を迎えた卒業生 2 名の計 25 名が参加してくれました。
先輩みちのく生 11 名がサポートスタッフとして参加してくれ、後輩たちを温かく迎え入れてくれました。

7. 夏の交流イベント

例年 5 月頃に日帰りイベント、8 月頃に 1 泊 2 日での自由参加イベントを実施しておりましたが、事務局体制の大きな変化ならびに参加希望者の減少に鑑み、第 13 期はいずれも開催を見送りました。

【法人運営関連】

9. 寄附金受入状況

第 13 期は総額 70,311,546 円のご寄附をいただきました。

約 25 年間の活動において必要な奨学金給付総額は約 44 億円になると見込んでおりましたが、活動終了までの収支見直しを見直したところ、学費の値上がり等の要因により、当初試算よりも多くの奨学金が必要となる見込みが生じました。修正見通しに基づき、追加で寄附金の手当てを行ってまいります。

寄附金内訳(第 13 期 2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日迄累計)

		金額(千円)	金額比率	件数	件数比率	人数・ 法人数等	人数・ 法人数等比率
寄附金合計	個人	19,818,700	28%	7	35%	6	32%
	法人・団体	50,492,846	72%	13	65%	13	68%
	計	70,311,546	100%	20	100%	19	100%
奨学金給付費用 指定寄附金	個人	71,759	0%	2	33%	1	20%
	法人・団体	47,521,143	100%	4	67%	4	80%
	小計	47,592,902	100%	6	100%	5	100%
運営費用 指定寄附金	個人	1,110,000	27%	4	31%	4	31%
	法人・団体	2,971,703	73%	9	69%	9	69%
	小計	4,081,703	100%	13	100%	13	100%
一般寄附金	個人	18,636,941	100%	1	100%	1	100%
	法人・団体	0	0%	0	0%	0	0%
	小計	18,636,941	100%	1	100%	1	100%

10. 第 13 期決算

第 1 号議案書に基づきご説明いたします。

11. 広報活動

・「みちのく未来通信」の発行

寄附者や奨学生等の基金関係者に対して、みちのく未来基金の現状をお伝えする広報紙「みちのく未来通信」を、2024 年 1 月(第 36 号)、6 月(第 37 号)に発行いたしました。

・基金ウェブサイトの更新

基金のウェブサイトについては随時更新を行っております。

・Facebook の利用

月 1～2 回の頻度で記事の更新を行い、閲覧回数を増やすようにしております。奨学生の閲覧も多く、交流が深まるきっかけともなっています。

12. その他特記事項

代表理事の交代に伴い、これまで長期に渡ってご支援いただいた企業を中心に、お礼と活動報告の訪問を実施しました。

13. みちのく未来基金の運営スタッフ体制について

前回の評議員会以降、スタッフ派遣企業の異動等により、下記のメンバーの変更がありました

- ① エバラ食品工業株式会社から派遣されていたスタッフ 1 名が 2024 年 3 月に基金を離れました。
- ② ロート製薬株式会社から派遣されていたスタッフ 1 名が 2024 年 3 月に基金を離れました。
- ③ 株式会社つなぐ との業務委託契約を 2024 年 6 月で終了しました。

2024 年 9 月末時点のみちのく未来基金事務局のスタッフ構成及び業務担当は以下の通りです。

藤田 晋太郎（ロート製薬株式会社）：代表理事（全体責任者）

齋藤 雅子：業務執行理事（現場統括、奨学金給付業務）

直接雇用スタッフ 1 名：内務業務（寄附金管理、総務経理事務）、学校訪問業務

カゴメ株式会社派遣スタッフ 1 名：学校訪問業務

以上